



にこにこだより



令和2年（2020年）6月19日（金）

横須賀市立ろう学校 幼稚部

★なかよし会の続き★

第6号

6月17日（水）、なかよし会でみんながもらったメダルを、幼稚部がお世話になる先生方にも配りに行きました。毎年の恒例行事となっており、みんな手作りのメダルや「よろしくおねがいます」という挨拶を楽しみにしていただけます。改めて幼稚部に関わる職員を紹介します。

校長先生・教頭先生



（子どもたちが大好きなので、本当は毎日一緒に遊びたいと思っています。ちょっと遠慮しながら、遠目でいつも子どもたちの様子を見守ってくれます。）



ST（言語聴覚士）の谷口先生



（ことばの指導や聞こえのことに关していつもアドバイスをしてくれます。かしわ祭では魔法使い、節分では鬼を演じてくれました。子どもたちに好かれる不思議な力があります。）



乳幼児相談の黒川先生

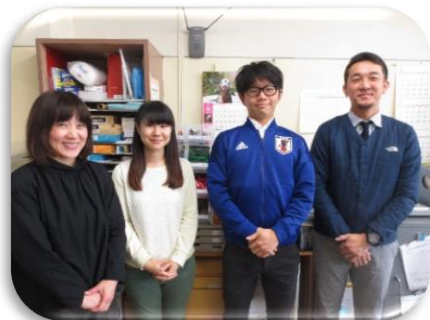


（子どもたちにとっては、ろう学校で最初に出合った先生ですよね。入学前に楽しく遊んだことを覚えているかな？）



事務室の西川さん、廣瀬さん、矢野さん、鈴木さん

（子どもたちが給食の行き帰りにあいさつをすると、仕事の手を止めていつも出てきてくれます。ニコニコ本当に嬉しそうに対応してくれます。でも今年はコロナ対策のため、ハイタッチができないのでちょっと残念かもしれません。）





用務員の松野さん



(子どもたちの目線で見ると、大きくそびえるような大柄です。優しくな目で子どもたちをいつも見守ってくれます。節分の鬼役では子どもたちが本気でこわがっていました。かしわ祭でも大酒飲みの鬼を演じていました。)



栄養教諭の上村先生



(いつも子どもの健康を考えながら献立を考え、食材の切り方や味付けまで細やかに配慮してくれます。みんながペロリと食べてくれると嬉しそうです。給食の指導や配食など、いつもお世話になっています。)



調理員の立石さん、稲村さん



(いつもおいしい給食を作ってくれます。空調がない調理室で毎日の重労働は本当に大変です。作ってくれた人に感謝ができる子どもたちに育ってほしいですね。)



保健室の堀内先生



(怪我や病気に丁寧に対応してくれます。そういえば、子どもたちの小さな小さな、本当に小さな擦り傷でも丁寧に絆創膏を貼ってくれました。ニコニコしながら「がんばったね。えらいね。もう大丈夫だよ。」なんて言われて子どもたちは大満足でした。)

